

5年生の学校生活 ～「誠実」について考える～

来年、清泉小学校創立75周年をお祝いするにあたり、5年生は「誠実」について学び、深めています。「誠実」という言葉は、清泉小学校でとても大切にしている言葉です。

15日(月)に「誠実」について、校長先生が各クラスでお話をしてくださいました。その中で、校長先生は子どもたちに2つの質問をされ、みんなで「誠実」とはどんなことなのかを考え合いました。(以下のものは、2つの質問の1つ目です。)



友人があなたに悪いことをしました。だけど、長い付き合いだから、それでケンカはせずに、軽く受け流し、これまで通り友達付き合いを続けました。あなたの対応は「誠実」ですか。



子どもたちの答えは分されました。誠実と考えた子どもの意見としては、「けんかに発展しなかったから。」「軽く受け流すということは、そのことに対して許しているということ。」という意見が出ました。一方、不誠実の意見として「長い付き合いだからこそ、きちんと言うべき。」「悪いことしたのを長い付き合いという理由にして、何もしないのはいけない。」という意見も出ました。全体的には不誠実の方だと判断した子どもが多かったです。

これらの意見を受けて、校長先生は「2つの質問から共通して、誠実になるためのポイントがありそうです。考えてみましょう。」と子どもたちに投げかけました。子どもたちから出た誠実になるためのポイントは、「相手のことを考える。他人に嫌なことをしない。みんなも自分も喜んでいる。自分の意思を持つ。」などが出ました。「誠実」という言葉は聞いたことがあったり、何となく知っていたりはずるけれど、お友達の考えを聞いてみると、「誠実」の捉え方は人それぞれのことがよくわかりました。今後、自分の行動が誠実な行動なのかを振り返ることができると良いでしょう。

今回の授業を受けての感想(一部抜粋)

- ・ 誠実は、「特定の人だけでなくすべての人に対して、公平に行うこと。自分のためだけにやることではない。」ということがわかりました。相手の思いや考えを大切にしようと思いました。人を許しすぎても、良くないと思いました。
- ・ 相手がどんな気持ちなのかなども深く考え、ゆずる心や許す心、正直な心などを1つでも多く実行できるように生活していきたいと思います。
- ・ 自分のことを考えてみたら、誠実じゃなかったことがたくさんあったから、ちゃんと相手のために行動できるような人になれるようがんばりたいと思いました。
- ・ 校長先生のお話を聞き、私は素直になろうと思いました。(受け流したとき、自分は少しモヤっとしたから。)